

# 新たな振興計画（中間とりまとめ）における 基盤整備部会委員意見の 反映状況

（第4回基盤整備部会資料）

令和3年11月5日

別紙1

新たな振興計画(素案)に対する修正意見審議内容一覧

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	基盤整備部会	
							審議結果(案)	意見者
1	4章	33頁	17行	運輸部門については、自家用車・路線バス等への電気自動車(EV)など次世代自動車の普及促進、基幹バスシステム導入等の交通需要マネジメント(TDM)施策の推進、鉄軌道を含む新たな公共交通システムと地域を結ぶ利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組推進、公共交通機関の利用促進、脱炭素化に配慮した空港・港湾機能の高度化等に取り組む。	運輸部門については、自家用車・路線バス等への電気自動車(EV)など次世代自動車の普及促進、基幹バスシステム導入等の交通需要マネジメント(TDM)施策の推進、鉄軌道を含む新たな公共交通システムと地域を結ぶ利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組推進、公共交通機関の利用促進、 <u>航空灯火のLED化や陸上電力供給による船舶のアイドリングストップ</u> など、脱炭素化に配慮した空港・港湾機能の高度化等に取り組む。	脱炭素化に配慮した空港・港湾の高度化という表現があるが、具体的な内容を記載する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
2	4章	36頁	4行	本県の地域実情に応じた「沖縄型スマートシティ」の形成を念頭に、SDGsやSociety5.0 社会に対応する地域と交通のあり方の調査研究を産学官が連携する体制を構築し、包括的・継続的に取り組む。	SDGsやSociety5.0 社会に対応する地域と交通のあり方の調査研究について、 <u>公・民・学</u> が連携する体制を構築し、包括的・継続的に取り組む。	合意形成のプラットフォームとして、全国で展開しているアーバンデザインセンターのような多様な主体がデータに基づき話し合いができる場づくりについて、地域の生活者も関わるという観点も含め検討する必要がある。 データのオープン化、データ流通プラットフォームの構築は、データの利活用を通じた新しい価値、新たな価値の創造やイノベーションの創造に不可欠なものとなっており、今後スマートシティなどの形成を進めていく上でも非常に不可欠な要素になってくると考えられる。そのため官民はじめ関係者の合意形成、あるいは共同利用していくための仕掛けや仕組みづくりに加え、利害関係を超えてニュートラルに調整できるような機能、あるいは体制の構築が必要であるという観点についても記載する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員 古江専門委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
3	4章	36頁	16行	「骨格性」、「速達性」、「定時性」等の機能を備えた基幹的な公共交通システムとして期待される鉄軌道の導入については、今後の制度改革や新たな技術開発等の動きも捉えながら、実現に向けて取り組む。	「骨格性」、「速達性」、「定時性」等の機能を備えた基幹的な公共交通システムとして期待される鉄軌道の導入については、今後の制度改革や新たな技術開発等の動きも捉えながら、実現に向けて取り組む。	公共交通システムの戦略的再編において、鉄軌道の導入に関して「骨格性」とあるが、わかりやすい表現にする必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
4	4章	37頁	12行	誰もが身近な場所で充実した活動ができるよう、中心市街地の活性化、土地区画整理事業や市街地再開発事業等を促進し、公園、道路、宅地等の一体的な整備に取り組む。	誰もが身近な場所で充実した活動ができるよう、商店街や中心市街地の活性化により賑わいを創出するとともに、土地区画整理事業、市街地再開発事業、街路整備事業、公園整備事業等により公共施設や宅地の一体的整備、土地の高度利用化に取り組む。	後半部分の記載内容が区画整理事業のみ内容となっている(公園道路宅地など)。中心市街地の活性化や市街地再開発事業を入れるのであれば、それらの事業で生み出されるものや効果を入れたほうが良い。また、中心市街地活性化などの話と小学校区のコミュニティの話は分けたほうが良い。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	小野専門委員
5	4章	37頁	17行	街路樹の適正な管理等に取り組む。	街路樹を含む歩道空間の適正管理に取り組む。	誰もが安全で快適に移動できる空間を創出するためには街路樹だけではなく歩道に付随する緑地帯の雑草問題なども含まれる。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	環境部会 比嘉専門委員
6	4章	53頁	22行	県営公園内の中城御殿跡や円覚寺跡を整備し、国営・県営公園区域の文化遺産等を一体的に利用することで、首里城に象徴される琉球の歴史や文化を体感できるよう、歴史的空間の創出に取り組む。	県営公園内の中城御殿跡や円覚寺跡を整備し、国営・県営公園区域の文化遺産等を一体的に利用することで、首里城に象徴される琉球の歴史や文化を体感できるよう、緑豊かな歴史的空間の創出に取り組む。	首里城周辺地域においては、100年後に緑豊かで石積みのある井戸から水がこんこんと湧き出ていて、歴史ある生活空間を体感できるようなまち並みをつくりたいという地元の希望があることから、「自然豊かな歴史的空間」など「自然」という言葉を入れた表現とする必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	小野専門委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
7	4章	53頁	30行	首里城を中心とした首里杜地区において、県・市・有識者・住民・企業等の関係者が連携して、「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの実現に向けて、歴史や文化を感じる景観まちづくりの推進に取り組む。	首里城を中心とした首里杜地区において、県・市・有識者・住民・企業等の関係者が連携して、「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの実現に向けて、 <b>自然</b> ・歴史や文化を感じる景観まちづくりの推進に取り組む。	首里杜地区には、井戸や湧水もあり、文化財指定をされているものもある。水や緑が豊かな首里城下町は地元NPOの思いでもあるため、自然を加える必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	小野専門委員
8	4章	54頁	2行	観光交通の分散化、大型バス駐機場やパークアンドライドの推進等による観光客の受入環境の整備、琉潭線や周辺道路の無電柱化や道路整備による交通環境の整備、通過交通の減少に資する那覇インターアクセス道路の早期事業化等に加え、公共交通網の充実やICTを活用した情報提供による歩行者中心で快適な道路空間を有する歴史まちづくりに取り組む。	観光交通の分散化を <b>促す取り組み及び</b> 大型バス駐機場やパークアンドライドの推進等による観光客の受入環境の整備、琉潭線や周辺道路の無電柱化や道路整備による交通環境の整備、通過交通の減少に資する那覇インターアクセス道路の早期事業化等に加え、公共交通網の充実やICTを活用した情報提供による歩行者中心で快適な道路空間を有する歴史まちづくりに取り組む。	首里城の交通の課題の解決のためには、パーク・アンド・ライドのバス停や駐機場等だけではなく、問題点がどこにあるのかデータに基づき対策を検討する必要がある。 交通渋滞の課題解決には、ハード整備だけでなく、公共交通を活用した手ぶら観光の促進などの観光の仕組みの検討も必要である。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員
9	4章	73頁	19行	このため、計画的な生活基盤の整備を行うとともに、デジタル化・オンライン化の促進に取り組む。	このため、計画的な生活基盤の整備を行うとともに、 <b>次世代の情報通信基盤の整備を含めた</b> デジタル化・オンライン化の促進に取り組む。	Society5.0の実現に向け、5Gなど次世代通信環境の整備が不可欠である。海洋島しょ圏の新たなインフラ整備の促進を強調するため(5G通信網の整備を含めた)を追記してはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	沖縄県振興審議会 津波委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
10	4章	74頁	5行	本県の水道施設は復帰前に整備されたものも多く、また、耐震性が低いことから、老朽化した施設の計画的な更新に併せて耐震化に取り組む。	本県の水道施設は復帰前に整備された耐震性の低い施設や、海岸近くに整備された施設も多いことから、施設の計画的な更新に併せて耐震化等の減災対策に取り組む。	浄水場や発電所などはほぼ海のそばに立地しており、地震津波などの災害に脆弱である。今後10年、20年での減災・防災対策を行政として行っていくのか検討する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	平良専門委員
11	4章	75頁	16行	エネルギーの自立分散化を推進し、集中的なエネルギー供給システムの技術的・経済的・対外的弱点を補いつつ、安定供給とレジリエンスの強化を図るとともに、デジタル技術等の活用により社会全体の効率的な電力用に取り組む。	エネルギーの自立分散化を推進し、集中的なエネルギー供給システムの技術的・経済的・対外的弱点を補いつつ、安定供給とレジリエンス(強靱性)の強化を図るとともに、デジタル技術等の活用により社会全体の効率的な電力用に取り組む。	「エネルギーの安定供給とレジリエンス」について、解りやすい表現を使用すべきである。 「レジリエンス」を「回復力」とするなど	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
12	4章	75頁	24行	□デジタル化・オンライン化を促進するため、次世代の通信環境に対応した環境整備と行政サービスの質の向上に向けた次に掲げる施策を推進する。	□デジタル化・オンライン化や、ICTを活用したデジタルトランスフォーメーションを促進するため、…	デジタル化・オンライン化の促進について、10年後を考えると、もっと情報時代を超えた次の時代の流れになると考えられるため、「デジタルトランスフォーメーションを見据えたデジタル化・オンライン化を推進」や「第4次産業革命を見据えた行政サービスに取り組む」とするなどを検討する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
13	4章	75頁	24行	次世代の通信環境に対応した環境整備	次世代の情報通信に対応した基盤整備と行政サービスの質の向上に向けた次に掲げる施策を推進する。	適切と考える語句への修正する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	沖縄県振興審議会 津波委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
14	4章	76頁	1行	また、離島等の条件不利地域においては、都市部と同等の情報通信環境の確保に向け、海底光ケーブル等の中継伝送路の段階的な整備や陸上通信網の地下埋設等の整備を図り、安定かつ質の高い情報通信基盤の確保に取り組む。	また、離島等の条件不利地域においては、都市部と同等の情報通信環境の確保に向け、海底光ケーブル等の中継伝送路の段階的な整備や、 <b>生活基盤において重要となる施設を中心に</b> 陸上通信網の地下埋設等の整備を図り、安定かつ質の高い情報通信基盤の確保に取り組む。	ここで言及されている内容は非常に重要なものと認識。 特に、陸上通信網の「地下埋設」等の整備という視点。 近年の自然災害の激甚化等を踏まえると、特に離島等条件不利地域における社会インフラ(通信、電力等)の強靱化が求められる。 通信においては、特に重要拠点(役場、空港・港、診療所等)での不具合が発生した場合の生活基盤に与える影響は大きく、また復旧にも相応の時間がかかることもあり、通信事業者と連携した、強靱化対策が必要と考える。 これらを踏まえ、ここでの記述においては、「重点施設を中心とした陸上通信網の地下埋設等の整備を図り」としてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	古江専門委員
15	4章	76頁	10行	□自治体のデジタル化については、行政手続のオンライン化やオープンデータ化の推進など、利用者目線に立った行政サービスの質の向上に取り組む。	□自治体のデジタル化、 <b>デジタルトランスフォーメーション</b> については、行政手続の…	デジタル化・オンライン化・オープンデータ化だけでは古いため、「第四次産業革命(or デジタルトランスフォーメーション)を見ずえた行政サービスに取り組む。」を記載する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
16	4章	82頁	2行	観光客が安全・安心で快適に過ごすため、空港・港湾の受入体制を含めた観光危機管理体制の強化に取り組む。	観光客が安全・安心で快適に過ごすため、 <b>ICTなどの活用により</b> 観光危機管理体制の強化に取り組む。	観光危機管理と書かれていますが、持続可能な観光地という観点からも観光危機管理は重要です。この危機として感染症や自然災害など様々なことを想定すればよいのですが、少なくとも島嶼地域において人命を失うような自然災害が発生した場合、観光復興に時間がかかることは過去の災害から明らかです。この対応に加え、観光交通マネジメントや自然環境への影響モニタリングの観点からも、観光客の流動をモニタリングすることは重要です。それを踏まえたいうで、例えば津波浸水想定区域内にどれだけの人がいるのか？(L1・L2災害)何人の帰宅困難者がどの島・地域で発生するのか？それらを受け入れるキャパシティは？などが検討されます。現状においては、検討のための定量的な数値すら明確に取られていないと思います。また、コロナからの回復における地域差などもこれから問題になる可能性があります。このような観点から、「ICT技術などを活用した観光流動のモニタリング」という言葉は必要だと思います。ここでは無いかもしれませんが、災害時に大型旅客船を寄港させ、一時的な避難所として利用することも十分検討に値すると思います。そのまま乗せて鹿児島まで運ぶのもあるかと思えます。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
17	4章	82頁	23行	社会基盤等の防災・減災対策については、予防的対策を含む既存施設の機能維持・強化対策をはじめ、地域の実情に応じた地震対策、河川の治水・浸水対策、海岸の津波・高潮対策、土砂災害対策等に取り組む。	社会基盤等の防災・減災対策については、予防的対策を含む既存施設の機能維持・強化対策をはじめ、 <u>地域の実情に応じた</u> 地震対策、河川の治水・浸水対策、海岸の津波・高潮対策、土砂災害対策等に取り組む。	社会基盤の防災・減災対策において、地域の実情に応じた対策との表現があるが、例えば海岸の津波・高潮対策における必要な堤防高の確保など具体的な内容について示す必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。 ※「地域の実情」としては、年間をとおして、塩分を含む強い風が吹くことに加え、高温多湿な気候から鉄筋の腐食による建造物の劣化を著しくする塩害、水を含む粘性の強い流動体となる性質を持つ島尻泥岩層の対策などが本県における「地域の実情」として挙げられます。 しかし、県内に限れば、これらは地形形状、外力特性、地質条件など設計条件となります。「地域の実情」は設計条件を一般的な表現としたものですが、意味の捉え方が不明瞭となるため削除します。	入部専門委員
18	4章	83頁	15行	□亜熱帯地域に適した防災・減災、長寿命化等に対応するための建設技術の研究・開発を促進する。	□亜熱帯地域に適した防災・減災、長寿命化等に対応するための <u>技術者の育成及び</u> 建設技術の研究・開発を促進する。	本土復帰後、集中的に整備された社会基盤の経年劣化や塩害による急速な劣化の進行など、適切な維持管理や補修の実施が重要となっている。 そのため維持管理を担う技術者の育成確保を促進する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	有住部会長
19	4章	83頁	19行	各種災害の発生を想定したハザードマップの作成、各種即報システムの拡充・強化を図り、県民や本県を訪れている観光客に向けた情報発信の強化に取り組む。	各種災害が <u>想定される区域を設定し</u> 、ハザードマップ作成の <u>推進</u> 、各種即報システムの拡充・強化を図り、県民や本県を訪れている観光客に向けた情報発信の強化に取り組む。	水害や高潮も含めて、住民が避難すべきかどうかの判断材料となるハザードマップが作られていないため、まず浸水想定に関して整備するという表現を最初に入れる必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員



番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
20	4章	89頁	7行	イノベーション型経済への移行を	イノベーション型経済への移行成長を	イノベーション型経済という用語はないのではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
21	4章	89頁	7行	イノベーション型経済への転換	イノベーション型の経済成長への転換	県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
22	4章	89頁	17行	・P85、3行目 「□ 観光、ものづくり、農林水産業・・・」	・P85、3行目 「□ 観光産業、ものづくり産業、建設産業、農林水産業・・・」	「3 希望と活力にあふれる豊かな島をめざして」の「(1)県民所得の着実な向上につながる企業の『稼ぐ力』の強化」の項目については、県民所得の向上に貢献し、大きな稼ぐ力になっている建設業も含めて全産業が対象となっていることがわかるよう、全体的に項目の出し方を検討する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	平良専門委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
23	4章	90頁	5行	「□ 観光リゾート産業や情報通信産業をはじめ…」	「□ 観光リゾート産業や情報通信産業、 <b>建設産業</b> をはじめ…」	「3 希望と活力にあふれる豊かな島をめざして」の「(1)県民所得の着実な向上につながる企業の『稼ぐ力』の強化」の項目については、県民所得の向上に貢献し、大きな稼ぐ力になっている建設業も含めて全産業が対象となっていることがわかるよう、全体的に項目の出し方を検討する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	平良専門委員
24	4章	90頁	14行	ResorTech Okinawa	① <b>リゾートテックおきなわの推進による産業DXの加速化</b>  リゾートテックおきなわとは、本県においてデジタル社会を実現していく中で、社会・経済のDX推進に向けた取組の総称をいう。	ResorTech Okinawaはとても良い概念であり沖縄に適した造語であると思う。しかし、「本県においてデジタル社会を実現していく中で、情報通信産業の高度化と全産業のDXを推進する取り組みの総称」としては適当でないと思う。用語をさらに検討する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
25	4章	90頁	31行	小売業や飲食店・宿泊業等サービス業における予約・注文のオンライン化やキャッシュレス決済の導入、建設業におけるドローンを活用した測量等(i-construction)の推進、医療・介護分野におけるロボット・ICT化、農業におけるドローン活用及びデータ分析等による生産性向上など、全産業におけるDXを促進する。	小売業や飲食店・宿泊業等サービス業における予約・注文のオンライン化やキャッシュレス決済の導入、建設業におけるドローンを活用した測量等(i-construction)の推進、i-Construction及びBIM/CIM等の促進、医療・介護分野におけるロボット・ICT化、農業におけるドローン活用及びデータ分析等による生産性向上など、全産業におけるDXを促進する。	「建設業におけるドローンを活用した測量等(i-construction)の推進」と書かれていますが、ドローンによる出来形管理などは当たり前のように既に実施されているべきことであり、ものすごく消極的な表現となっていると思います。例えば、「建設分野においては、BIM/CIMによる調査・設計・施工・維持管理における3次元モデルの連携、MMS等による点群を用いた維持管理の効率化や災害復旧対応の迅速化等、設計から維持管理や災害時をも含めた建設分野におけるICT技術の推進と活用による生産性向上に取り組む。」などの表現にはできないでしょうか。さらに言えば、「これらで取得されたデータを施工段階や維持管理段階へ活用するデジタルツイン、デジタル静岡のような観光など他分野への活用による多分野も含めた新たな価値創造へ繋げる」というところまで行けると思います。なお、ここで記したことは国内では新しいことではないと思っています。さすがに、原文のままだと10年前の文書になってしまっております。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員
26	4章	93頁	34行	中央	中欧	記載ミスと思われる。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
27	4章	94頁	8行	収束後を見据えた	感染症の収束後を見据えた	この項目では何の収束が明らかでない。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
28	4章	94頁	12行	民間部門の誘導・保管も役割の一つに挙げられる。	民間部門の誘導・保管も <b>県の</b> 役割の一つに挙げられる。	主語を記載する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。	高良副部長
29	4章	94頁	15行	民間の活動を誘導・誘発へつなげるのが重要である。	民間の活動を誘導・誘発 <b>する</b> ことが重要である。	つなげるとは何かわからない。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。	高良副部長
30	4章	94頁	25行	本県の観光産業については、自立型経済の持続可能な発展に貢献し、地元ひいては県民の幸福感を高める観光を推進すべきであり、中長期的なスパンで観光収入と環境保持そして住民の幸福感の三位一体となったバランスが取れた持続的発展の観光産業を目指す必要がある。今後は、特に「高次元のニーズ」に対応した質の高い観光の推進が、結果として滞在日数や観光収入の増加、環境配慮、地元住民の理解、生活の向上等につながる事が理想的である。	(89項17行目) 沖縄経済を牽引するリーディング産業として、感染症等の多様なリスク、SDGS、ICTの進化など、外部環境の変化に適応するとともに、 <b>高次元のニーズ「健康・長寿」、「安全・安心」、「快適・環境」に対応できる</b> 沖縄のソフトパワーを生かし、世界から選ばれる持続可能な観光地の形成を目指す。	「高次元のニーズ」とは何か。マズローの階層理論ではなさそうですし、文章を読むとこれに対応することが観光収入の増加や環境配慮に繋がるようなので、単価の高い観光ということか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。	神谷専門委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
31	4章	101頁	3行	クルーズ船寄港による社会的利益の創出と地域への還元のあるり方について検討する。	クルーズ船寄港による <b>経済的利益</b> の創出と地域への還元のあるり方について検討する。	「社会的利益」と記載がありますが、社会的便益では。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員
32	4章	102頁	24行	⑤ 観光二次交通の利用促進	97頁20行 過度なレンタカー利用に起因する那覇空港や観光地等の混雑等の課題を解決するためには、 <b>観光客が最適なモビリティの情報を収集し、かつ容易に利用できる環境が必要である。</b> そのため、民間が取り組むMaaSやCASE等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境を構築し、維持するとともに、公共交通におけるコンタクトレス決済の普及を促進することで、ICTを活用した新たなサービスの創出を促進し、国内外から来訪する観光客の二次交通の利便性・満足性の向上を図る。	「観光二次交通の利用促進」というタイトルになっていますが、内容は公共交通の利用促進かと思われます。観光二次交通は飛行機やクルーズなどで来られた方と次の移動手段を意味しているだけであり、レンタカーであっても公共交通であっても利用しています。タイトルが適切では無いように思われます。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員
33	4章	105頁	16行	PPP	PPP(公民連携)	県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
34	4章	105頁	16行	PFI	PFI(民間主導公共サービス)	県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
35	4章	107頁	20行	那覇港及び那覇港を基軸とする国際物流拠点の形成と、国際物流産業の集積に取り組む必要がある。	那覇空港及び・那覇港及び中城湾港新港地区を機軸とする国際物流拠点の形成と、国際物流産業の集積に取り組む必要がある。	中城湾港のあるうるま・沖縄地区も「国際物流拠点産業集積地域」に指定されている。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	宮城専門委員
36	4章	108頁	9行	リードタイム	リードタイム(所要時間)	県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長
37	4章	108頁	27行	国際航空物流ネットワークの強化に向けて、関連施設の整備促進、物流機能の強化等により航空物流産業のサービス・コスト両面での国際競争力を高めるとともに、国際線の拡充に向けて復便及び新規路線の誘致に取り組む。	国際航空物流ネットワークの強化に向けて、関連施設の整備促進、物流機能の強化等により航空物流産業のサービス・コスト両面での国際競争力を高めるとともに、 <u>国際路線の拡充に向けて運休路線の復便及び新規路線の誘致に取り組む。</u>	復便の誘致だとなぜ復便だけかという疑問に思う。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
38	4章	109頁	29行	(追加挿入)	<p>P.104 27行目</p> <p>④ 空港・港湾へのアクセス強化に向けた陸上輸送の基盤整備</p> <p>那覇港と背後の主要アクセス道である臨港道路港湾1号線及び周辺の都市内道路において慢性的な渋滞が発生しており、円滑な港湾貨物の輸送に支障をきたしている。今後、総合物流センターの整備拡充など港湾機能の強化が進むにつれ、さらに渋滞が悪化することが懸念されることから引き続き渋滞対策に取り組む必要がある。</p> <p>また、那覇空港・那覇港の連携強化とともに、背後地に国際物流拠点産業集積地域を有し東海岸地域の産業支援港湾である中城湾港新港地区との連携強化にも取り組む必要がある。</p> <p>空港・港湾の国際物流機能を活用した産業の集積、重要課題である那覇空港と那覇港の連結をはじめとするシー・アンド・エアの実現に向けて、空港と港湾、空港・港湾と産業拠点とのアクセス性の強化に向けて、が重要であり、那覇港総合物流センター二期・三期の整備による集貨等に伴う陸上貨物増大への対応や、那覇空港及びクルーズターミナルからの人流効率化を含めた交通の円滑化を図るため、重要物流道路等の陸上輸送の基盤整備の促進に取り組む。する。</p>	<p>①現状で産業集積地として最も機能している中城湾港との連結が必要。</p> <p>②狭隘化・老朽化している那覇港を補完するため、中城湾港を整備の上、交通アクセスを強化するため。</p> <p>以下の文案を記載してはどうか。</p> <p>「また、那覇港の狭隘化・老朽化を受け、他の港湾との複合的な整備・開発は不可欠である。「沖縄県東海岸サンライズベルト構想」にもあるとおり、中城湾港の産業支援港湾としての機能の充実・強化を図るとともに、那覇空港や那覇港をはじめとした西海岸地域との連携・役割分担や有機的連携の推進、相乗効果発揮のために、基幹道路の整備に取り組む必要がある。」</p>	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	産業振興部会 山城副部長
39	4章	112頁	13行	エコシステム	「 <u>絶え間なくイノベーションが創出されるイノベーション・エコシステム</u> 」	エコシステムは一般には生物に関連した生態系。この文脈では「ビジネス生態系」がよい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
40	4章	113頁	7行	異なる分野のプレイヤーの	「 <u>異なる分野間のマッチング</u> 」	日本語として適当でない。辞典によればプレイヤーは、プレイヤー【La Pleiade フランス】。プレイヤー【player】は①競技者。②演技者。演奏者。③レコード・プレイヤー・CDプレイヤーなどの略となっていることから、「異なる分野の または 異なる分野の間の」などとする必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
41	4章	113頁	16行	エコシステム	<u>「絶え間なくイノベーションが創出されるイノベーション・エコシステム」</u>	エコシステムは一般には生物に関連した生態系。この文脈では「ビジネス生態系」がよい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
42	4章	115頁	9行	バリューチェーン	<u>一連の流れの中で価値を生み出すバリューチェーン</u>	カタカナだけではわかりにくい。県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
43	4章	118頁	15行	新たなビジネスモデル	<u>これまでの行政が主体となっていた社会課題解決の取り組みを民間事業者の持つ新たな視点・手法を活かしてビジネス化する取り組みに転換する支援や民間事業者との協働を通じてソーシャル・イノベーションの促進に取り組む。</u>	具体性に欠け、専門用語をただ並べただけというような印象を受けやすい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
44	31章	132頁	31行	EC	<u>EC(電子商取引)</u>	「電子商取引」とするなど県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長



番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
45	4章	133頁	9行	建設産業の高度化を促進し、	「建設産業の高度化を促進し、県内はもとより、アジア・太平洋地域に積極的に技術貢献しうるグローバル産業としての新たな展開に取り組む。」 建設産業においては、BIM/CIMによる調査・設計・施工・維持管理の各段階における3次元モデルの連携、3次元計測による点群を用いた維持管理の効率化や災害時対応の迅速化等、設計から維持管理や災害時を含めた建設分野におけるi-Constructionの推進と活用による生産性向上に取り組む。更に、これらで得られたデータの他分野を含めた新たな活用に取り組み、インフラ分野のDXを促進する。	AIやディープラーニングについては、デジタル化されたデータが必要であり、計画に、何をモニタリングするか、何を計測するかということを表示する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。	神谷専門委員
46	4章	133頁	24行	社会ニーズに対応するため、産学官連携の下、自然環境の保全・再生、循環型・低炭素都市づくり、沖縄らしい風景づくり、耐震化・老朽化及び長寿命化、生産性の向上等に対応した新たな工法・資材等の技術開発に取り組む。	社会ニーズに対応するため、 <b>新たな工法・資材等の技術開発に取り組む企業や大学等と連携し</b> 、自然環境の保全・再生、循環型・低炭素都市づくり、沖縄らしい風景づくり、耐震化・老朽化及び長寿命化、生産性の向上等 <b>に関する取組を促進する。</b>	新たな技術開発については、産学官連携のもとで取り組むこととなっており、それぞれの役割や具体的な進め方を記載してほしい	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。	沖縄県振興審議会 津波委員
47	4章	133頁	29行	島しょ性や亜熱帯性等の地域特性により培われてきた技術など、県内建設業の強みや幅広いネットワークを活用し、海外建設市場等の新市場への進出促進に取り組む。	島しょ性や亜熱帯性等の地域特性により培われてきた技術など、県内建設業の強みや <b>産・学・官の幅広いネットワーク等</b> を活用し、海外建設市場等の新市場への進出促進に取り組む。	台風に近い住宅などの沖縄の建設技術について、アジアの島しょ国への売り込みは可能と考えるが、建設産業界だけでは厳しいため県と一緒にタッグを組んで推進していく。それぞれの役割などについて具体的に記載する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。	沖縄県振興審議会 津波委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
48	4章	147頁	16行	ア 次世代の通信環境に対応した情報通信基盤の整備	<p>□ネットワークは大きな組織に組み込まれることなく、数の力が得られ、お互いに違うもの同士を引き合わせ、それぞれがお互いの知識や技術を補完することで一人ずつではできないことを可能にする。各地に散在する安価で良質なヒト、モノ、カネ、情報等の生産要素をネットワークで効率的に組み合わせ、商品化するというコーディネート力によって、産業立地の不利性を克服し比較劣位を比較優位に転換できるのである。</p> <p>ネットワークの発達は、市場の理論、組織の理論に続く第3の理論と呼ばれ単に経済発展を超えて文明の展開そのものを規定するとさえいわれている。</p> <p>□ネットワークにより経済の主体は、…<b>デジタル社会</b>のメリットを駆使すれば、…島しょで狭小な本県にとって画期的な経営戦略の土台となる。</p> <p>□Society5.0の実現に向け、<b>産業や教育、医療、防災等、社会の様々な分野におけるデジタル化の推進</b>や産業競争力の強化において、5GやBeyond5Gなど、次世代の通信環境の整備が不可欠であり、海洋島しょ圏の新たなインフラとして、離島を含めた、次世代の超高速通信<b>環境の整備</b>に取り組む必要がある。</p>	<p>このままでは全国一般的な記述であり、沖縄の特異性を踏まえた記述が少ない。具体性に欠ける。</p> <p>そのため離島に対する施策を踏まえた記述、産業に対する施策を踏まえた記述、防災の基盤としての記述、教育の基盤としての記述などが必要である。</p>	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
49	4章	147頁	16行	各地に	<p>□ネットワークは大きな組織に組み込まれることなく、数の力が得られ、お互いに違うもの同士を引き合わせ、それぞれがお互いの知識や技術を補完することで一人ずつではできないことを可能にする。各地に散在する安価で良質なヒト、モノ、カネ、情報等の生産要素をネットワークで効率的に組み合わせ、商品化するというコーディネート力によって、産業立地の不利性を克服し比較劣位を比較優位に転換できるのである。</p> <p>□ネットワークの発達、市場の理論、組織の理論に続く第3の理論と呼ばれ単に経済発展を超えて文明の展開そのものを規定するとさえいわれている。</p> <p>□ネットワークにより経済の主体は、…<b>デジタル社会</b>のメリットを駆使すれば、…島しょで狭小な本県にとって画期的な経営戦略の土台となる。</p> <p>□Society5.0の実現に向け、<b>産業や教育、医療、防災等、社会の様々な分野におけるデジタル化の推進</b>や産業競争力の強化において、5GやBeyond5Gなど、次世代の通信環境の整備が不可欠であり、海洋島しょ圏の新たなインフラとして、離島を含めた、次世代の超高速通信<b>環境の整備</b>に取り組む必要がある。</p>	この段落はとくに沖縄県と無関係の印象を受ける。例えば左のように挿入し、ほかの段落と同じくらいに短くする必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
50	4章	147頁	24行	<p>・3-(12)-ア次世代の通信環境に対応した情報通信基盤の整備</p> <p>・リード文および①未来創造の情報通信基盤の構築</p> <p>・リード文「Society5.0の実現に向け、～次世代の超高速通信の環境整備を検討する必要がある。」</p> <p>・①「DXの基盤となる～、情報通信基盤の整備に取り組む。」</p>	<p>～、離島を含めた、次世代の超高速通信の環境整備に<u>取り組む</u>必要がある。</p>	<p>「離島を含めた、次世代の超高速通信の環境整備を検討する必要がある」について、非常に重要な記述だと考えるが、ここで「検討する」という表現は不要ではないか。(「検討する」とした意図があれば教えていただきたい。)</p> <p>※P.71では「5GやBeyond5Gなど次世代の情報通信基盤の整備に取り組む」としている。</p> <p>※P.73では、離島の情報通信基盤として「5Gなど次世代の超高速通信環境の普及促進に取り組む」としている。</p> <p>また、次の①の項目では、ここにだけ「ローカル5Gの導入」についての言及があるが、「ローカル5G」については、ここにだけ登場していると認識。(何か意図があるのであれば教えていただきたい。)</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。</p>	古江専門委員
51	4章	150頁	16行	<p>国内外との海上交通の結節点となる港湾の拠点機能やネットワーク機能の強化拡充により、経済・産業の競争力向上や持続可能な発展等による自立型経済の構築を実現する次に掲げる施策を推進する。</p>	<p>国内外との海上交通の結節点となる港湾の拠点機能や<u>シー&amp;エアなど多様な</u>ネットワーク機能の強化拡充により、経済・産業の競争力向上や持続可能な発展等による自立型経済の構築を実現する次に掲げる施策を推進する。</p>	<p>他のところでは出てくるが、ここにも「シー&amp;エア」という言葉が使われていない。空港と港湾を連結させ、シー&amp;エアの機能向上からまお一体化した整備についてもこの部分に表現は必要。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。</p>	沖縄県振興審議会 淵辺委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
52	4章	150頁	32行	特に…取り組む。	特に、新港ふ頭地区については、RORO船の大型化や内貨貨物の増大等により那覇港全体の貨物の7割が集中しており、 <b>い</b> ることから、 <b>那覇港の</b> 港湾施設用地等の拡大や臨港産業等の産業集積 <b>の</b> ために必要となる展開用地の確保が必要である。 <b>については、このため、港湾施設の拡張等に対する様々な方策を検討し、新たな内外貿ユニットロードターミナル等の整備、各ふ頭の機能再編、那覇港及び周辺地域の物流倉庫の更新・整備等を図ること、港湾施設の拡張等に対する様々な方策を検討し、内貨貨物に対する港湾機能の充実に取り組む。</b>	文が長いので、最後の方では文頭が何だったのかわからない。三つに分けてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長
53	4章	151頁	6行	□ 東洋のカリブ構想の実現に向け、フライ・アンド・クルーズ等の付加価値の高いクルーズ誘致を行うため、クルーズバースの整備に取り組むとともに、浦添ふ頭地区においては、富裕層の長期滞在型観光の拠点となる世界から選ばれる持続可能な観光地の形成に向けて、自然環境を活かし、ビーチ・マリーナ等から構成する観光・ビジネスの拠点形成の実現に向けて取り組む。	□ <del>東洋のカリブ構想の実現に向け、</del> フライ・アンド・クルーズ等の付加価値の高いクルーズ誘致を行うため、クルーズバースの整備に取り組むとともに、浦添ふ頭地区においては、富裕層の長期滞在型観光の拠点となる世界から選ばれる持続可能な観光地の形成に向けて、自然環境を活かし、ビーチ・マリーナ等から構成する観光・ビジネスの拠点形成の実現に向けて取り組む。	「東洋のカリブ構想」はコロナ前の構想であり、新計画に向けて構想自体を見直し、時代の潮流に合った構想にする必要がある。なお、構想見直しの際に「東洋の○○」といった発想ではなく、沖縄を中心に据えた構想名称にして頂きたい	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	文化観光スポーツ部会 下地部会長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
54	4章	153頁	23行	超小型モビリティ	超小型モビリティ(1人用小型車等)	「超小型モビリティ(1,2人乗り車)」とするなど県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
55	4章	154頁	3行	□ さらに、地域間を結ぶ交通ネットワークの拡充に加えて、交通結節点を地域の交通拠点(マルチモーダル)として整備し、多様なモビリティを活用したスムーズな乗り継ぎサービスのみならず、周辺の特性に応じた情報発信・収集機能、防災機能、拠点機能を併せて提供することで、都市中心部における歩いて楽しむ賑わいのある街の形成を図る。	□ さらに、地域間を結ぶ交通ネットワークの拡充に加えて、交通結節点を地域の交通拠点(マルチモーダル)として整備し、多様なモビリティを活用したスムーズな乗り継ぎサービスのみならず、周辺の特性に応じた情報発信・収集機能、防災機能、 <b>交流</b> 拠点機能を併せて提供することで、都市中心部における歩いて楽しむ賑わいのある街の形成を図る。	南城市の事例が記されていますが、その書き方は公共駐車場を活用したバスターミナル、という交通だけから見た解釈となっている。 日本各地の過疎地域で行われている道の駅を中心とした自動運転の取り組みでは、道の駅を交通結節点としてだけではなく、診療所もあり、日常的な買い物をする場でもあり、これらを通じて多様な世代の人が集う場所になっています。南城市の交通結節点では、中高生が勉強したり、高齢者がお茶を飲みながら話をしたり、と多様な世代が集える場を提供しています。(インクルーシブな社会を作るための場の創造)このことは、地域公共交通計画においてクロスセクター効果として挙げられているものよりさらに広くとらえようとしています。 つまり、どのような社会を作りたいのか。それに対して、どのようにパブリックとプライベートの交通を組み合わせるのかを考える必要がある。 併せて、中南部都市圏の渋滞に関する課題やTDM等の施策も考える必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
56	4章	156頁	11行	具体的には、IoT、ビッグデータ、リアルタイムモニタリング、AI等の活用による交通システムや自動運転等により、	具体的には、IoTやリアルタイムモニタリング等を用いて人流、物流等のビッグデータを収集し、AI等を活用した交通システムや自動運転等により	AIやディープラーニングについては、デジタル化されたデータが必要であり、計画に、何をモニタリングするか、何を計測するかということ表現する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。  ※ 該当箇所148頁29行は、147頁21行と「3-⑫-エ シームレスな交通体系」の中で重複する内容となっているため、147頁21行は削除し、148頁29行目以降の文章を該当箇所を含めてまとめて修正いたします。	神谷専門委員
57	4章	156頁	11行	有効的な	有効的な	自然な日本語として「有効な または 効果的な」としてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】該当箇所の147頁21行と148頁33行は「3-⑫-エ シームレスな交通体系」の中で重複する内容となっているため、ご指摘の147頁21行は削除し、148頁29行目以降でまとめて修正いたします。	高良副部会長
58	4章	156頁	14行	道路空間への再配分	道路空間の再配分	「道路空間の再配分」とするなど自然な日本語としてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
59	4章	164頁	2行	(3)世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献 ②水道分野における国際協力の推進 □本件と地形的・気候的特徴が類似する太平洋島しょ国等に対し、島しょ地域に適合した水道事業の運営及び水資源に関するノウハウの技術移転等を目的とした技術協力に取り組む。	(3)世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献 ②水道分野における国際協力の推進 □本件と地形的・気候的特徴が類似する太平洋島しょ国等に対し、島しょ地域に適合した水道事業の運営及び水資源に関するノウハウの技術移転等を目的とした技術協力を「 <b>技術協力にJICA沖縄、市町村等と連携して</b> 」取り組む。	水道分野に関しては長年にわたる、県企業局、県内市町村、JICAの連携による国際協力が展開されているため。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	文化観光スポーツ部会 倉科専門委員
60	4章	165頁	10行	関係人口	関係人口(定住人口、交流人口以外の地域と多様に関わる人々)	「関係人口(定住人口、交流人口以外の多様に関わる人々)」とするなど県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
61	4章	185頁	16行	農外	□青年層や女性層、 <b>農業以外</b> からの新規参入者、～	自然な日本語として「農業以外」としてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
62	4章	185頁	26行	産業化	<b>産業界</b>	誤記では。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長



番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
63	5章	198頁	19行	PPP / PFI やSIB(Social Impact Bond)など、官民連携による新たな財源の確保や有効活用を基本方向に、民間事業者のノウハウや資金を活用する事業手法の導入に取り組み、行政コストの低減や資金調達の多様化を推進する。	PPP / PFI やSIB(Social Impact Bond)など、官民連携による新たな財源の確保や有効活用を基本方向に、 <u>地元企業の積極的参画を含めた民間事業者のノウハウや資金を活用する事業手法の導入に取り組み</u> 行政コストの低減や資金調達の多様化を推進する。	PFIにおいては、建設、管理、資金調達の面において高度な能力を企業に求められる。PFIの実施にあたっては、県内企業が参画でき活躍できるシステム作りが必要である。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	沖縄県振興審議会 津波委員
64	6章	204頁	33行	自然資源や歴史資源等の保全を図り、観光振興や産業振興等に資する土地利用を広域的かつ計画的に展開していくため、中南部都市圏を一体の都市として捉え、駐留軍用地の返還も見据えた都市計画区域の再編を視野に入れた取組を進める。	<u>自然資源や歴史資源等の保全を図り、観光振興や産業振興等に資する土地利用を広域的かつ計画的に展開していくため、中南部都市圏を一体の都市として捉え、駐留軍用地の返還も見据えた都市計画区域の再編を視野に入れた取組を進める。</u> <u>今後、中南部都市圏において返還が予定されている大規模な駐留軍用地跡地や鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入と連動し、自然資源や歴史資源等の保全を図り、観光振興や産業振興等に資する土地利用を広域的に展開していくため、関係市町村と連携の下、地域が求めるまちづくり等、市町村の実情を加味したうえで、中南部都市圏を一体の都市として捉え、都市計画区域の再編も視野に入れた取組を進めながら、持続可能な都市圏の形成に資する土地利用や交通政策を総合的かつ計画的に推進していく。</u>	100万都市圏または政令都市並である中南部都市圏については、少なくとも道路、公共交通、土地利用を総合的に考えることが絶対的に必要である。中南部都市圏マスタープランがあってもいいくらいであり、どこが主体となって検討し、いつまでに何をするのかを新たな振興計画の中で明確に記載してほしい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員
65	6章	207頁	7行	島しょ型モビリティ	<u>低速で走行する電気自動車など</u> 島しょ型モビリティ	具体的に何かを示すとわかる様に「電気自転車など島しょ型モビリティ」としてはどうか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
66	6章	207頁	18行	住み慣れた島で安心して暮らし続けられるよう、定住条件の整備・向上に取り組むとともに、地域住民の安全・安心と利便性を支えるシームレスな島しょ型交通体系の整備と安定的な運用を図る	住み慣れた島で安心して暮らし続けられるよう、定住条件の整備・向上に取り組むとともに、 <b>交流・関係人口を拡大する取組を一体的に推進し、地域の特性に合わせた島内交通手段など</b> 、地域住民の安全・安心と利便性を支えるシームレスな島しょ型交通体系の整備と安定的な運用を図る。	「シームレスな島嶼型交通体系の整備と安定的な運用」とは何でしょうか？生活交通確保維持改善事業などを使ってコミバスを運行しているところもありますが、知識不足もあり効果的な運用ができていないようにも思われます。外部人材との連携が必要だと思います。(関係人口かもしれませんが)また、島民と観光客の流動だけでなく、モノの移動や高齢者の移動という観点を総合化した上で、何を、いつ、どこからどこへ運ぶのか(島に来ただけではダメ)?を有機的につなげて論理を組むべきですが、そのような観点が見られません。(港から家まで荷物を運べない高齢者世帯の増加への対応は?)また、長期間船が運行できないときの対応は?運ぶのかストックするのか?このことを島だけで考えてもらうことは難しいです。一方でモデル性の高い取り組みでもあります。小規模コミュニティにおける地域適正技術(ハイテクである必要はありません)によるモビリティモデルとしてのテストベッドになりうと思います。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員
67	6章	208頁	11行	過疎債	・・経過措置期間終了後、 <b>過疎地域の市町村に特別に発行が認められる過疎対策事業債</b> が活用できなくなるため、・・	「市町村が発行する過疎債」とするなど、過疎債とは何かわからなくても理解しやすい表示にする必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
68	6章	208頁	22行	県土の均衡ある発展を支える公共交通の基幹軸として、骨格性・速達性・定時性等の機能を備え、都市間をつなぐ鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入に取り組むとともに、北部圏域と中南部都市圏における有機的な公共交通ネットワークの構築に向けた交通結節点やフィーダー交通の機能強化を図る。	県土の均衡ある発展を支える公共交通の基幹軸として、 <del>骨格性</del> ・速達性・定時性等の機能を備え、都市間をつなぐ鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入に取り組むとともに、北部圏域と中南部都市圏における有機的な公共交通ネットワークの構築に向けた交通結節点やフィーダー交通の機能強化を図る。	「骨格性」について県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長
69	6章	208頁	22行	県土の均衡ある発展を支える公共交通の基幹軸として、骨格性・速達性・定時性等の機能を備え、都市間をつなぐ鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入に取り組むとともに、北部圏域と中南部都市圏における有機的な公共交通ネットワークの構築に向けた交通結節点やフィーダー交通の機能強化を図る。	(修正案) 県土の均衡ある発展を支える公共交通の基幹軸として、速達性・定時性等の機能を備え、都市間をつなぐ鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入に取り組むとともに、北部圏域と中南部都市圏における有機的な公共交通ネットワークの構築に向けた交通結節点やフィーダー(支線)交通の機能強化を図る。	「フィーダー交通」を「支線交通」とするなど県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長
70	6章	209頁	15行	取組の推進に当たっては、AI、IoT、ビッグデータ等の先端技術を活用した道路利用の効率化を図るとともに、自動運転技術等の導入についても、道路空間の構築と合わせた一体的取組を推進する。	取組の推進に当たってはIoT等を用いて <b>収集した人流、物流等のビッグデータ、AI等</b> を活用した道路利用の効率化を図るとともに、自動運転技術等の導入についても、道路空間の構築と合わせた一体的取組を推進する。	AIやディープラーニングについては、デジタル化されたデータが必要であり、計画に、何をモニタリングするか、何を計測するかということを表現する必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	神谷専門委員

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
71	6章	211頁	7行	国や北部3村、関係団体と連携して「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録を見据え、その適正管理に取り組む。	<u>世界自然遺産登録地である沖縄島北部では、オーバーツーリズム対策やロードキル対策など、地域との連携による自然遺産管理の取組を推進する。</u>	自然遺産登録が決定したことにより表現を変える必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
72	6章	223頁	1行	スマートプラスチック	<u>「脱プラスチック」</u>	「プラスチックスマート」との表現が正しいのではないか。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
73	6章	225頁	3行	②交通渋滞の緩和に向けた交通ネットワークの構築に追加	体系的な幹線道路網の構築を図る。 <u>また、跡地を活用した骨格的な道路網の構築に向けた検討に取り組む。</u>	中部圏域の展開の方向性で、「今後の大規模な駐留軍用地の跡地利用と周辺市街地との一体的な整備を推進する。」と記載(p208. 3行)あるが、施策の中では記載漏れです。 振興計画の章立てでは、6章で再掲も含め詳述して、圏域の整備方向性を県民が分かるよう記載すべきです。 その他、モノレール延長の区間やLRTの区間等、公共ネットワークの整備についても記載すべきです。利用者の少ない北部では記載されています。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	沖縄県振興審議会 津波委員
74	6章	234頁	6行	環境負荷に対して脆弱	廃棄物等による環境負荷に対して脆弱	初めて読む人には、環境負荷に脆弱なことからなぜ廃棄物処理につながるかわからない。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
75	6章	241頁	8行	実習	<u>防疫初動演習</u>	講習や訓練でなく、すぐその内容の実習になっているのは文書上おかしいのでは。  <b>修正もれ、今後対応予定</b>	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長
76	6章	244頁	17行	世界自然遺産登録を見据えた西表島においては、地域との連携による自然遺産管理や持続可能な観光地マネジメントなど環境保全と持続的な利活用の両立を図る取組を推進する。	<u>世界自然遺産登録地である西表島では、オーバーツーリズム対策やロードキル対策など、地域との連携による自然遺産管理の取組を推進する。</u>	自然遺産登録が決定したので表現を変える必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長
77	6章	248頁	26行	実習	<u>防疫初動演習</u>	講習や訓練でなく、すぐその内容の実習になっているのは文書上おかしいのでは。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長
78	-	-	-	片荷 創貨	〈説明文案〉 <u>・片荷輸送・・・物流において、往路または復路のどちらか一方にしか荷物を積まないこと。非効率な貨物輸送に繋がり、物流コスト増加の一因となっている。</u> <u>・創貨・・・港湾における貨物の創出。外部から港湾物流に関連する企業の立地を図り、新たな物流を生み出すこと。物流施設の立地等により国内外の貨物に付加価値を与えた貨物など。</u>	専門用語でなく、わかる言葉に変えられないか。片荷:片方向荷物 創貨:貨物需要の創出  <b>巻末の用語集に掲載予定</b>	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。	高良副部会長
79	-	-	-	エコシステム	<u>「絶え間なくイノベーションが創出されるイノベーション・エコシステム」</u>	エコシステムは一般には生物に関連した生態系。この文脈では「ビジネス生態系」がよい。  <b>前述の112頁の13行目で記載したためそのままとする。</b>	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部会長

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
80	-	-	-	ハンズオン支援	「各段階に応じた支援に取り組む」	「ハンズオン支援(専門家派遣)」など県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
						修正もれ、今後対応予定		
81	-	-	-	ビジネスを通じて社会課題を解決し、社会の変革をもたらすソーシャル・イノベーションを促進する	ソーシャル・イノベーション(ビジネスを通じて社会課題を解決し、社会の変革をもたらすこと)を促進する	定義であることを明確にすべきである。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
						巻末の用語集に掲載予定		
82	-	-	-	サポーティング産業	サポーティング産業(工業を支える中小企業、部品メーカーなど)	カタカナだけではわからないため、県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。	高良副部長
						巻末の用語集に掲載予定		
83	-	-	-	CIQ	CIQとは、Custom(税関)、Immigration(出入国管理)、Quarantine(検疫)の略	CIQは一般にはわからないため、県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。	高良副部長
						前述の96頁の下段で記載したためそのままとする。		

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
84	-	-	-	モーダルシフト	<p>〈説明文案〉  <u>モーダルシフト・・・輸送手段を転換すること。具体的にはトラックによる貨物輸送を船舶等の環境負荷の小さい輸送手段へ転換させ、CO2排出量を抑制するとともに、トラックドライバー不足を解消するための取組み</u></p>	<p>県民にわかりやすい表示を行う必要がある。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。</p>	高良副部長
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">           巻末の用語集に掲載予定         </div>		
85	-	-	-	RORO船	<p>〈説明文案〉  <u>RORO船・・・貨物を積んだトラックや荷台(シャーシ)ごと輸送する船舶のこと。船尾や船側にゲートを有し、トラックまたはフォークリフトで貨物の積み卸しを行う。</u></p>	<p>県民にわかりやすい表示を行う必要がある。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。</p>	高良副部長
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">           巻末の用語集に掲載予定         </div>		
86	-	-	-	ユニットロード	<p>〈説明文案〉  <u>・内外貿ユニットロードターミナル</u>  <u>・・・国内外へ輸送する(または国内外から輸送される)貨物の中で、雑貨などの貨物をコンテナ等で一つにまとめた貨物(ユニットロード貨物)を取り扱うふ頭(ターミナル)</u></p>	<p>県民にわかりやすい表示を行う必要がある。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。</p>	高良副部長
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">           巻末の用語集に掲載予定         </div>		
87	-	-	-	フライ・アンド・クルーズ	<p>〈説明文案〉  <u>フライ・アンド・クルーズ・・・飛行機(フライ)と船(クルーズ)を組み合わせた旅行のこと。具体的には、飛行機で国内外のクルーズ船の発着地まで行き、クルーズを楽しむ旅行。</u></p>	<p>県民にわかりやすい表示を行う必要がある。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。</p>	高良副部長
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">           巻末の用語集に掲載予定         </div>		

番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
88	-	-	-	スーパーヨット	<p>〈説明文案〉</p> <p><u>スーパーヨット・・・一般的に外国人富裕層などが個人所有する全長80フィート以上(24m以上)の大型クルーザーのこと。別名「メガヨット」と呼ばれることもある。</u></p>	<p>県民にわかりやすい表示を行う必要がある。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。</p>	高良副部長
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>巻末の用語集に掲載予定</b> </div>		
89	-	-	-	親水空間	<p>〈説明文案〉</p> <p><u>親水空間・・・水に親しむ空間。例えば、水際まで近づくことができるあるいは、安全、快適に水面を見ることができる空間など。</u></p>	<p>県民にわかりやすい表示を行う必要がある。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。</p>	高良副部長
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>巻末の用語集に掲載予定</b> </div>		
90	-	-	-	BPC	<p>〈説明文案〉</p> <p><u>BCP・・・(Business Continuity Planの頭文字)業務継続計画。災害発生時に機能低下を最小限にし、早期の機能回復を図るための対応策等を定めた計画。</u></p>	<p>県民にわかりやすい表示を行う必要がある。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。</p>	高良副部長
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>巻末の用語集に掲載予定</b> </div>		
91	-	-	-	CIQ	<p>〈説明文案〉</p> <p><u>CIQとは、Custom(税関)、Immigration(出入国管理)、Quarantine(検疫)の略。</u></p>	<p>県民にわかりやすい表示を行う必要がある。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。</p>	高良副部長
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>前述の96頁の下段で記載したためそのままとする。</b> </div>		
92	-	-	-	グリーンインフラ	<p><u>グリーンインフラ(自然環境が有する多様な機能を活用したインフラ)</u></p>	<p>「グリーンインフラ(自然環境利用)」とするなど県民にわかりやすい表示を行う必要がある。</p>	<p>【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】左案のとおり修正する。</p>	高良副部長
						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>巻末の用語集に掲載予定</b> </div>		



番号	章	頁	行	報告書(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	審議結果(案)	意見者
93	-	-	-	AI、IoT、ビッグデータ等の新技術等を活用して道路利用を効率化し、歩行者や自転車、公共交通等の多様なニーズに対応した道路空間の有効的な活用に取り組む。	AI、IoT、ビッグデータ等の新技術等を活用して道路利用を効率化し、歩行者や自転車、公共交通等の多様なニーズに対応した道路空間の有効的な活用に取り組む。	道路空間の有効活用策がイメージできないので、施策の事例を追加して欲しい。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 該当箇所の147頁21行と148頁29行は「3-⑫-エ シームレスな交通体系」の中で重複する内容となっているため、ご指摘の147頁21行は削除し、148頁29行目以降でまとめて修正いたします。	神谷専門委員 沖縄県振興審議会 津波委員
94	4章	96頁	下段	CIQ	CIQとは、Custom(税関)、Immigration(出入国管理)、Quarantine(検疫)の略	CIQは一般にはわからないため、県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 別立てで用語集の項目を設けるか、対象ページ下部に説明文を補足する。	高良副部長
						文章の削除		
95	4章	155頁	下段	LRT	<u>LRT(次世代型路面電車システム)</u>	「LRT(軽量軌道交通)」とするなど県民にわかりやすい表示を行う必要がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 左案のとおり修正する。	高良副部長
						前述の96頁の下段で記載したためそのままとする。		